



取付説明書

TD712zMK2

TD712zMK2-S

取付説明書：090003-3080A700

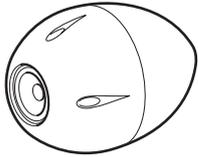
このたびは、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
組み立てを行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
指定以外の組み付けや、指定以外の部品を使用すると、事故や怪我の原因となることがあります。
組み立て後は、この取付説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。

もくじ

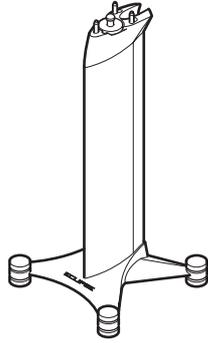
取り付ける前に	梱包物	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
	使用上のご注意	3
取り付けについて	スピーカの取り付け	4
	スピーカの角度調整について	5
	スパイクの調整について	5
	キャップおよび保護ネットの取り付けについて	5
	スピーカコードの配線処理について	6
	仕様	6

梱包物

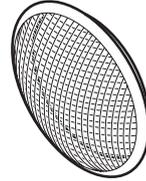
作業前に梱包物が揃っているか確認してください。



① φ12cmスピーカ
×1



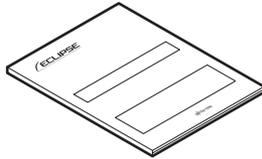
② スピーカスタンド
×1



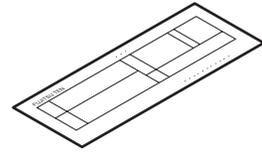
③ 保護ネット
×1



④ キャップ
×5



⑤ 取付説明書
×1



⑥ 保証書
×1

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り付けをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り付けをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



アドバイス

本製品の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

警告

- 本製品を高所に設置しないでください。落下して怪我の原因となります。
- 本製品を分解しないでください。
- 湿気の多い所では、使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

- 本製品のスタンドを他の用途には使用しないでください。
- 本製品の組み立ては平坦な場所で行ってください。平坦でない場所で行うとスタンドが倒れて怪我の原因となることがあります。
- 本製品を通路等に設置しないでください。スタンドに接触して怪我の原因となることがあります。
- 本製品は、水平でしっかりとした場所に設置してください。不安定な場所に設置すると転倒して怪我の原因となることがあります。
- 本製品は、組み立て時、運搬時に落としたり、引きずったりしないでください。落としたり引きずったりすると怪我や床等に傷が付く原因となることがあります。
- 本製品に乗ったりぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたりこわれたりして怪我の原因となることがあります。
- 本製品は重いので開梱や持ち運びは十分注意してください。腰を痛めたり、足の上に落とす等怪我の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 電源を入れる前、または入力切換を行う前には、必ず音量を最小にしてください。突然の大出力により、接続されたスピーカシステムを破損させる原因となります。
- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、適度な音量でお楽しみください。
特に、夜間などは小さな音量でも周囲にはよく通るものです。
お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。
- スピーカシステムは、必ず電源を切った状態で接続してください。
- スピーカとスタンドは分解しないでください。
- スピーカ単体を直接床に置かないでください。スピーカおよび床に傷が付く恐れがあります。
- 本製品を倒さないように注意してください。
- 本製品の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて軽く拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使わないでください。

取り付けについて

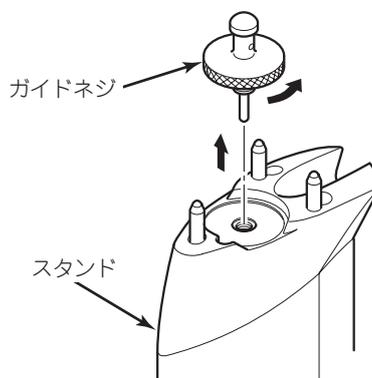
—スピーカの取り付け—

- 1 スタンドの設置場所を決め設置します。

⚠ 注意

本製品の組み立ては、平坦な床面で行う。スタンドに接触して怪我の原因となることがあります。

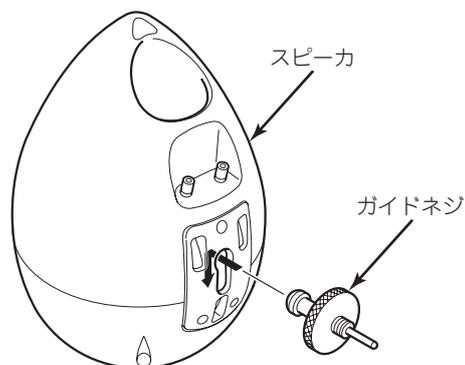
- 2 スタンドからガイドネジを取り外します。



- 3 図のようにガイドネジをスピーカへ取り付けます。

⚠ 注意

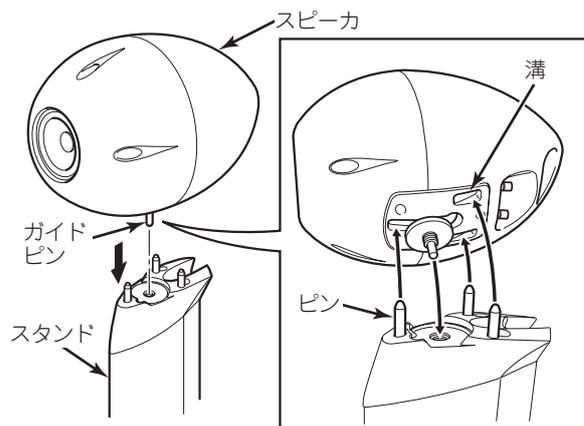
スピーカを床面に置く際、スピーカおよび床面に傷が付く恐れがありますので保護布などを敷いてください。



⚠ 注意

- ・スピーカを載せる際、コーン紙に触れない様にしてください。スピーカが破損する恐れがあります。
- ・スピーカをスタンドに載せる際、誤って傾けて載せるとスピーカ底面等に傷が付く恐れがあります。
- ・スピーカをスタンドに載せる際、傾けて作業するとガイドピンが落下し怪我や床等に傷が付く原因となることがあります。

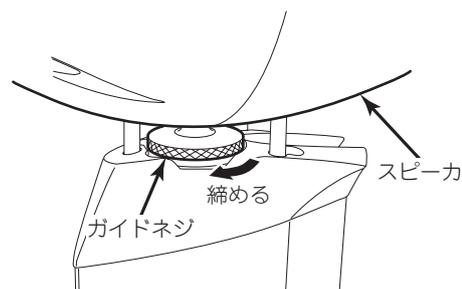
- 4 図のようにスタンドの位置を確認しながらスピーカを載せます。



👉 アドバイス

ガイドピンをスタンドへ挿し、各溝へ3本のピンを合わせてください。

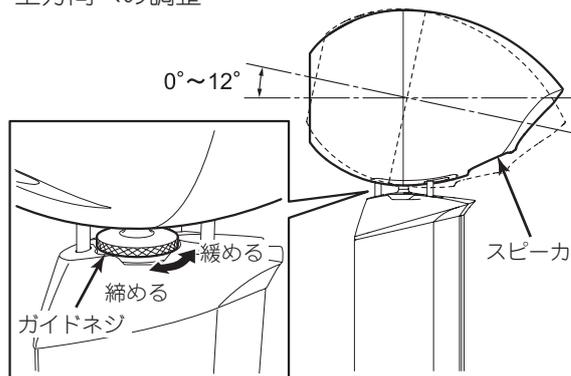
- 5 ガイドネジを締め付け、スピーカをスタンドに固定します。



—スピーカの角度調整について—

- 1 ガイドネジを緩め、スピーカをお好みの角度にします。
- 2 角度が決まればガイドネジを締め、スピーカを固定します。

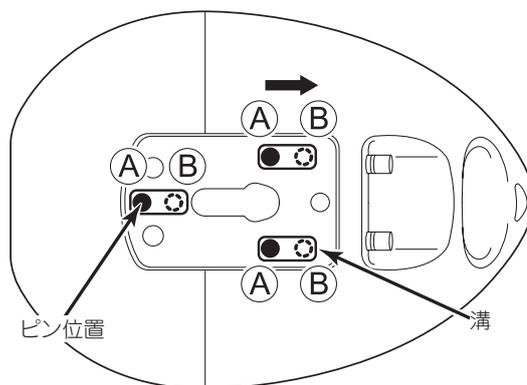
上方向への調整



👉 アドバイス

- ・スピーカの角度は、スタンドのピンがAの位置で0°となり、Bの位置で12°となります。
- ・スピーカを手で支え、ガイドネジを締めてください。

スピーカ底面

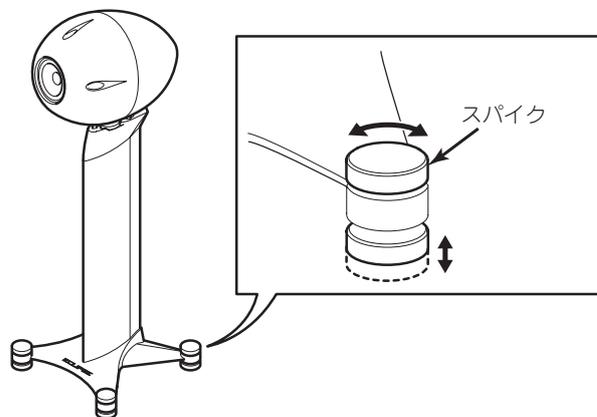


—スパイクの調整について—

- 1 図のようにスパイクを廻して調整します。

👉 アドバイス

- ・4つのスパイクを反時計方向に廻しきってから床に置きます。
- ・スパイクを1つずつ時計方向に廻します。スパイクの先端が受け皿に当たった感触がしたら、そこでスパイクを止めます。(調整幅10mm)

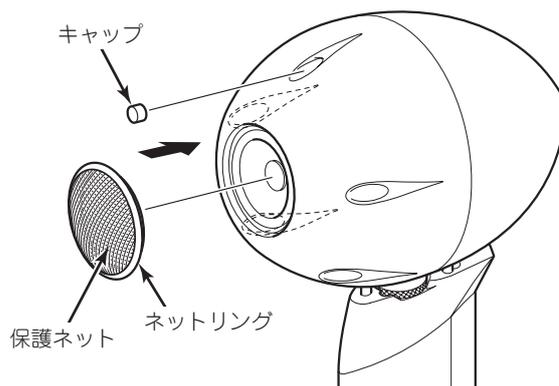


—キャップおよび保護ネットの取り付けについて—

- 1 図のように5ヶ所にキャップを取り付けます。
- 2 保護ネットを取り付けます。

👉 アドバイス

- ・保護ネットは、スピーカを使用しない時や、お客様のお好みにより取り付けてください。
- ・保護ネットがネットリングから外れた場合、ネットリングの溝に保護ネットをはめ込んでください。



—スピーカコードの配線処理について—

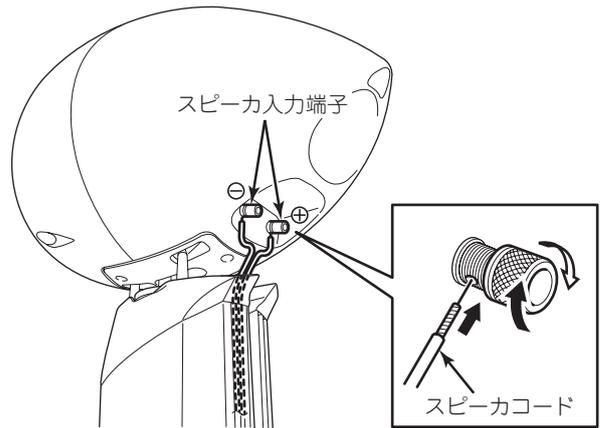
- 1 スピーカコードの端をスピーカ入力端子の穴に差し込み、固定してください。

注意

スピーカコード接続の際には、スピーカコードの端などが隣の端子に触れることのないよう、確実に固定してください。

アドバイス

スピーカにスピーカコードを接続する際は、スタンドの溝にスピーカコードを通して配線すると、見映えがよくなります。(φ 7mm未満の場合)



仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

●スピーカ部

□ 径	φ 12cm
防 磁	防磁設計(JEITA)
方 式	バスレフ・ボックス
耐入力	定格35W / 最大70W
インピーダンス	6Ω
外形寸法	W285×D411×H285 (mm)
質 量	11kg

●スタンド部

	TD712 z MK2	TD712 z MK2-S
全 高	723mm ~ 733mm	335mm ~ 345mm
質 量	14kg	7kg